

2024年4月30日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2024年春)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/saga/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行佐賀事務所 Tel : 0952-23-8165

1. 総論

○ 佐賀県の景気は、回復の動きが足踏みした状態が続いている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、高水準で推移している。公共投資は、増加している。

こうした中で、生産は、弱含んでいる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

先行きについては、海外の経済・物価動向、コスト高とその波及、労働需給と雇用者の所得形成などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

< 景気判断の前回との比較 >

項目		基調判断	
		前回(2024年冬)	今回(2024年春)
景気全体		一時的に回復の動きが足踏みしている。	回復の動きが足踏みした状態が続いている。
需要項目	個人消費	物価上昇の広がり等から、一時的に回復の動きが足踏みしている。	物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
	公共投資	弱めの動きとなっている。	増加している。
	設備投資	大幅に増加している。	高水準で推移している。
生産		横ばい圏内の動きとなっている。	弱含んでいる。
雇用・所得		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、底堅く推移している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店・スーパー売上高	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	底堅く推移している。
耐久消費財	家電販売	弱含んでいる。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	受注が弱含む中、一部の工場稼働停止の影響も加わり、このところ減少している。
サービス	旅行・観光	増加している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

4. 公共投資

- 公共投資は、増加している。

2024年1～3月の公共工事請負金額は前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、高水準で推移している。

法人企業景気予測調査(2024年1～3月期調査)における2023年度の設備投資は、前年度を大幅に上回る見込みとなっている。2024年度は、前年度を上回る計画となっている。

6. 生産

- 生産(鉱工業生産)は、弱含んでいる。

▽主要業種の生産動向

食 料 品	弱含んでいる。
化 学	回復している。
電 気 機 械	減少している。
電子部品・デバイス	下げ止まりつつある。

7. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

有効求人倍率は、高水準で推移している（2月：1.30倍）。1月の雇用者所得総額¹は、現金給与総額の減少を主因に前年を下回った（1月：▲2.4%）。

8. 物価

- 3月の消費者物価(佐賀市、生鮮食品を除く総合)は、前年比+3.2%となった。

9. 金融²

- 2月の預金残高をみると、前年を上回った(2月:+1.3%)。
- 2月の貸出残高をみると、前年を上回った(2月:+3.6%)。

以 上

1 雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額(名目)＜ともに事業所規模5人以上＞」で算出。

2 預金・貸出残高の前年比は、国内銀行(ゆうちょ銀行等を除く)の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「県別預金貸出金残高統計」参照。